

## アジアユースサミット

春日丘高校 林田 あい

私は、2019年8月17日～22日、大阪府ドーンセンターと奈良市青少年野外活動センターでJAFSが主催するアジアユースサミットに参加しました。この6日間で、貴重な経験をたくさんすることができました。

今回この合宿に参加した目的は、アジアの人々との国際交流、英会話力の向上、そして世界で起きている様々な地域問題への理解を深めることでした。もともと英語、国際交流に興味があったのですがアジア圏の人々との交流は初めてだったこと、また、地域問題に触れることで世界をより知れるのではないかという期待からこのアジアユースサミットに申し込むことにしました。

プレゼンでは、近所で起きているようなかなり身近なテーマを取り上げプロジェクトを制作しましたが、それが最終的には大きな国際問題にもつながっていけるようにしたいと思い、同じ高校のメンバーと色々なアイデアを出し合いました。日本語でのプレゼンも認められていましたが、せっかくの機会なので英語で発表することにしました。英語での発表は初めてだったので内容がしっかり伝わるか不安でしたが、プレゼン後外国の参加者に英語を褒められ、挑戦してみてよかったと心から思えたし自信にもなりました。

また、グループディスカッションを通しての村の政策作りでは10人程度のグループに分かれ、各自持ち寄った地域問題を解決するためのプロジェクトを約3日間かけて話し合いました。このディスカッションで私は国民性の違いを大きく感じました。言語の壁よりも、根本的な考え方、進め方の違いに驚きました。自分の意見を妥協せずに詳細に伝えあって、深夜まで話し合いが終わらない日や心が折れそうになった日もあったけれど、最終的に全員が納得できる政策が完成して、達成感は今まで感じたことがないほど大きかったしグループの絆も深まりました。こんな貴重な経験は人生で何度できるかわからない、と感じるほど、本当に良いディスカッションだったと思います。

この6日間を通して私は様々なものを得ました。貧困や環境問題についての知識、問題解決に向けてどのように話を進めていけばよいかという考え方だけでなく、アジア文化を生で体験できたこと、アジア中に友達ができただけなことなど、すべて私にとって特別なものになりました。ディスカッションやフェアウェルでのリーダー経験などを通して、積極性、責任感も身につけることができたと感じています。

準備にあまり計画性がなかったことが今回の反省点なので、優秀賞をいただいた私たちのプロジェクトを実行するときにはもっと余裕を持って計画していきたいです。また、次回のアジアユースではユースリーダーとして私が今回していただいたように高校生たちに素晴らしい経験をさせてあげたいと思います。今回今まで知らなかった地域問題についてたくさんの知識を得ることができたので、今後さらに理解を深め国際交流、世界の発展に役立てていけるようにこの経験を活かしていきたいです。